この講演会は以下の研究の一環として行われるものです。
国立研究開発機構〔AMED〕障害者対策総合研究開発事業「COVID-19下における聴覚障害者のICT利活用の実態調査及びその成功例をもとにした情報提供資材の開発

ろう・難聴ナラティブ　オンライン講演会シリーズ　第3回

オンライン講演会　● ZOOM開催

合理的配慮の働きかけ方

2024年　・手話通訳/要約筆記あり

2月10日(土) ＋Q&A

19:00–20:00

岩山　誠　MAKOTO　IWAYAMA

〈自己紹介〉先天性重度聴覚障害。大学院修了後、厚生労働省入省。都内の公共職業安定所に１０年間勤務。障害者の就労支援等職業安定行政に携わる。その後休職し博士課程在学中に英国留学。帰国後、聴障者支援の当事者団体が運営する就労継続支援Ｂ型、就労移行支援事業所等にて管理者・サービス管理責任者を歴任。現在は東京聴覚障害者総合支援機構の就労移行支援事業及び就労定着支援事業にて管理者兼サービス管理責任者を務める。社会福祉士。

申し込み

定員100名
参加費無料

右記メールアドレスまたは QR コードより「お名前」を明記してメールを送信してください。

E-mail：
rounansapo@rehab.go.jp

全４回開催

手話通訳・要約筆記あり

Zoom開催
リアルタイムＱ＆Ａ

第1回　石川寛和　12/16
私のナラティブ

第2回　森本健　1/13
聴覚障がい者の働き方における工夫

第3回　岩山誠　2/10
合理的配慮の働きかけ方

第4回　柴田留理　3/16
様々な職業・職場での経験から

オンライン講演会シリーズ　● LIVE

ろう・難聴ナラティブ

仕事場での関係構築とツールの活用

どんな目標を追いかけてきたのか、仕事現場での困難をどう乗り越えてきたのか、自分の見せ方、聴者とのコミュニケーションの取り方、ICTツールの使い方など、当事者が自ら戦いとってきた聴覚障がい者の働き方における知恵と工夫を、人生におけるターニングポイントと共に語るオンライン講演会。
次代を担う難聴者と聴者のために！

詳細はこちら→

http://www.rehab.go.jp/ri/departj/brainfunc/hibrain/

主催：国立研究開発機構〔AMED〕障害者対策総合研究開発事業「COVID-19下における聴覚障害者のICT利活用の実態調査及びその成功例をもとにした情報提供資材の開発」　担当：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 高次脳機能障害研究室